

令和6年度 事務事業評価シート（1）

[令和5年度事務事業]

一般会計					事務事業分類	A 一般事務事業	
事務事業名	感染症予防対策				事業番号	011-229	
担当部署名	健康福祉	局	保健所	部	感染症対策	課	

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本 計画 2025	施策 との 関連	有・無	戦略	—	施策	—
		無	取組の方向性			—	
		寄与 する KPI	有・無	指標名		—	
		無	現状値		—	目標値	—
2	堺市SDGs 未来都市 計画	施策 との 関連	有・無	ゴール	—	ターゲット	—
		無	取組			—	
		寄与 する KPI	有・無	指標名		—	
		無	現状値		—	目標値	—
3	事業開始年度	平成 11 年度		点検対象年度		令和 7 年度	
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)	感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律					

事業の概要

5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)	本庁
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)	堺市民 813,153人 (R5.4.1現在)
		対象数 813,153 人
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)	様々な感染症に対し、その感染力や健康被害への影響を勘案し、疫学調査、入院措置及び就業制限等を行うことで市民の健康を守るとともに、感染の拡大を防止する。また、保育所、学校及び老人福祉施設等に対して、感染症予防の指導啓発等を行うことにより、施設内の集団感染を防止し、子どもや高齢者の健康維持を図る。
8	事業内容 (目的を達成するための手段) ※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など	<ul style="list-style-type: none"> 1から5類等の感染症が発生した場合、必要に応じ患者への疫学調査、入院措置、就業制限、接触者の健康観察等を行うことで感染拡大を防止する。 ウイルス性肝炎の早期発見のため、各保健センター及び協力医療機関において肝炎ウイルス検査を実施するとともに、陽性者を早期治療につなげるためのフォローアップ事業を実施する。 市民および市内集団施設に対し、感染症予防のための知識の普及及び指導を行う。 性感染症について、各保健センターや保健所での検査及び啓発事業を実施する。 新型コロナウイルス感染症については、感染状況や国及び大阪府の方針に応じ、適切に感染対策事業を実施する。
	※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載	
9	主な支出先 (委託・補助金・負担金等)	一般社団法人 堺市医師会ほか
10	公民連携・協働事業	

II. 事業目的の達成状況

事業の成果や活動実績の測定

11	成果指標(目的の達成状況を測定)	単位	実績		目標	目標 点検対象年度	
			令和4年度	令和5年度			
11	1, 2, 3類感染症、麻しん及び風しんの集団発生件数	件	目標値	0	0	0	
			実績値	0	0		
			達成率	100%	100%		
	当該指標を選定した理由	疫学調査で感染拡大を防止することのできる感染症の集団発生件数を指標とすることにより、事業目的の達成状況を把握するため。					
	目標値の設定根拠・算出方法	疫学調査により感染拡大を防止することが事業目的であるため。					
12	活動指標(成果を上げるための手段)	単位	実績		目標		
			令和4年度	令和5年度	令和6年度		
			目標値	100	100		
			実績値	100	100		
	疫学調査実施率 (1類～5類感染症)	%	達成率	100%	100%		
	当該指標を選定した理由	疫学調査を実施することで感染症の感染拡大を防止することができるため。 ※令和5年度疫学調査実施件数：291件					
	目標値の設定根拠・算出方法	感染拡大を防止するためには、対象となる感染症の全ての症例について疫学調査を実施することが必要であるため。					

令和6年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名	感染症予防対策	事業番号	011-229
-------	---------	------	---------

III. 投入量

事業コスト

※当初予算には、前年度からの繰越分を含む。 (単位 : 千円)

13 財 源 内 訳	項 目	令和3年度	令和4年度	令和5年度		令和6年度
		決算	決算	当初予算	決算	当初予算
	事業費 (a)	2,631,358	4,478,457	5,678,956	914,171	132,466
国支出金	1,877,100	1,718,451	2,168,798	572,512	90,154	
府支出金	286,376	1,392,520	2,029,509		0	
市債			0		0	
その他 (医療物資寄付金)			0		0	
受益者負担金(使用料、手数料等)			0		0	
一般財源	467,882	1,367,486	1,480,649	341,659	42,312	
人件費 (b)	238,600	244,800	168,600	0	0	
年間経費(c)=(a)+(b)	2,869,958	4,723,257	5,847,556	914,171	132,466	

事業費の内訳

(単位 : 千円)

16 事 業 費 内 訳	項 目	年度		事業費	うち 一般財源	項 目	年度		事業費	うち 一般財源
		R5	決算	35,187	12,350		R5	決算	31	31
肝炎ウイルス検査委託料	R6	予算	34,463	12,138		感染症審査協議会委員報酬	R6	予算	160	160
検査手数料	R5	決算	1,565	861		ハンセン病講演会実行委員負担	R5	決算	50	50
	R6	予算	1,720	993		金	R6	予算	50	50
医療機関等資料郵送料	R5	決算	46	43		感染対策指導業務	R5	決算	0	0
	R6	予算	165	164			R6	予算	3,172	3,172
研修会・会議等参加旅費	R5	決算	115	115		コロナ対策経費	R5	決算	875,267	326,638
	R6	予算	44	44			R6	予算	91,109	24,578
感染症対策消耗品費	R5	決算	1,393	1,273		その他 (使用料及び賃借料、負担金等)	R5	決算	517	298
	R6	予算	678	544			R6	予算	905	469

IV. 事業の効率性

単位当たり経費

17	区分	単位	令和4年度	令和5年度
			4,795	5,001
			32,951	35,187
	③ 単位当たり経費 (②÷①×1,000円)	円/単位	6,872	7,036

備考（算出についての説明等） ②は肝炎ウイルス検査委託料

V. 評価

費用対効果に係る所見

18	性感染症の対策については、関係性の深いHIV／エイズと同時に啓発を行うことで、啓発の効果を高めるだけでなく費用面でも効率的に実施することができた。
	また、肝炎ウイルス検査の委託料に関して、健診と同時に実施する場合（採血にかかる費用や診察料の積算が単独で実施した場合と比較し安価になる）等の適切な単価を設定していることで、効果的な検査を実施することができている。

KPI等への寄与（基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか）

19	疫学調査の必要な感染症に対して確実に調査を実施することは、感染症対策において極めて重要なことである。令和5年度においても疫学調査実施率を100%に保ち、接触者の健診や就業制限等の措置を適切に講じたことで、二次感染、三次感染を未然に防ぐことができた。
	新型コロナウイルス感染症については、感染状況や国及び大阪府の方針に応じ、医師会等への行政検査委託、事務処理センターによる自宅療養者への健康管理・受診調整等の事業を実施することにより、適切に感染対策事業を実施することができた。